

## 災害時における応急仮設住宅等の建設に関する協定及び地域防災力の向上並びに地方創生に関する包括連携協定締結式

7月8日(木)、境町は一般社団法人モバイル建築協会と、「災害時における応急仮設住宅等の建設に関する協定及び地域防災力の向上並びに地方創生に関する包括連携協定」を結びました。

東日本大震災から10年、この間日本では地震や水害など、各地で大規模かつ広域における災害に見舞われています。万が一、災害が発生した場合は、被災自治体だけでなく、全国的な支援の枠組の構築が必要となります。境町では、災害時に仮設住宅として利用できるコンテナハウス等モバイル建築ユニットの導入と備蓄を進めてきました。この協定を通じ、モバイル建築を活用した自治体間連携・官民協働による応急仮設住宅等の社会的備蓄普及、全国の支援ネットワークづくり等、さらなる取り組みの推進を行っていきます。



一般社団法人モバイル建築協会長坂俊成代表理事(左)・橋本町長(右)

7/24

## 境町利根川左岸河川防災ステーション 希望者向け住民説明会を開催

境町の長年の悲願だった、境町利根川左岸河川防災ステーション建設事業計画が、国土交通省水管理・国土保全局長から3月18日(木)に新規登録の通知を受け、利根川左岸堤防沿いの圏央道北側の塚崎の地に建設することが決定されました。建設に向けて具体的に動き出すにあたり、コロナ禍であることを踏まえ、書面での説明会を行いました。さらに希望者には、7月24日(土)に、建設予定地の行政区長などの立ち合いの元、塚崎1区集落センターで事業の概要説明会が行われました。



国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所による説明会が、希望者26名に対して行われました

## 社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式

「社会を明るくする運動」に関する総理大臣からのメッセージが、猿島地区保護司会境支部及び猿島地区更生保護女性会境支部の皆さんから橋本町長に伝達されました。この運動は、法務省の主唱により、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更生についてすべての国民が理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするもので、今回で71回目となり、毎年7月を強調月間として全国的に展開されているものです。



橋本町長と猿島地区保護司会境支部・猿島地区更生保護女性会境支部の皆さん

6/28・7/1・7/3・4

## 7月1日高速バス「境町～東京駅線」 境町高速バスターミナル開所式

町では、公共交通網の更なる充実に向けて、関東鉄道株式会社(松上英一郎取締役社長)、ジェイアールバス関東株式会社(中村泰之代表取締役社長)の共同運行により、7月1日(木)から高速バス「境町～東京駅線」の運行を開始しました。高速バスにより、境町と東京駅が最短90分で直結、通勤通学の利便性が向上します。運行開始に先駆け、6月28日(月)に、西泉田の「境町高速バスターミナル」開所式が行われました。



詳細はホームページへ  
ホームページ QRコード



晴天のもと行われたテープカット

## 東京駅で運行開始記念イベントを開催

7月3日(土)・4日(日)東京駅八重洲南口の高速バスきっぷうりばにて、運行開始記念境町PRイベントを開催!朝採りの新鮮な野菜が好評で、今後も境町産品の都内輸送に期待を持てる結果でした。



都内の方が大勢訪れ、イベントは大盛況

### 来場者 VOICE

東京出身 20代女性 : 境町出身東京在住 50代女性  
「バスが通ったことは知らなかった。祖父が古河市在住で、便利にま寄せた。今度バスに乗って、境町へ行きたい」

## 大規模洪水災害における境町民の町外広域避難に関する覚書を締結

6月21日(月)、境町と八千代町等が「大規模洪水災害における境町民の町外広域避難に関する覚書」を締結しました。

町はこれまでに、利根川氾らんの洪水災害に備え、茨城県立坂東総合高等学校、茨城県立総和工業高等学校などと広域避難覚書を締結しています。今回の覚書は、更なる境町民の安全・安心のため、八千代町をはじめ、茨城県立八千代高等学校、同校に隣接する駐車場を所有する安達運輸や、氏橋勝利さんらのご理解・ご協力により、八千代町に広域避難先を確保する目的で締結したもので、今回新たに、避難者約650人、車約450台分(※八千代高校は体育館や合宿所を避難施設として、隣接駐車場では車中泊での避難に対応)の避難先を確保することができました。



八千代町で行われた締結の様子

6/29

## まちなかウォークブル事業で誘導案内標示を施工

観光客や施設利用者が周遊ルートをスムーズ且つ、安心して移動できるよう、道の駅さかいから河岸の駅さかいまでの840m区間に誘導案内標示を施工しました。

まちなかの周遊ルートには、隈研吾氏が設計したレストラン茶蔵や肅黎実美術館、S-ブランドなど、町が設置した数々の観光・レジャー施設が点在していて、これらをつなぐ道路には歩道がないことから、来訪者を安全に周遊させることが課題となっていました。そこで、今回2車線交互通行の道路から中央線を消去して車道幅員を減少させ、片側の路側帯を拡幅することで歩行空間を創出し、施設と目的地までの距離が一目で分かるよう50m毎に誘導案内シートを標示しました。



施工された誘導案内シート

## 東京電力パワーグリッド株式会社との防犯カメラ設置表示取付及び災害時の停電復旧の連携に関する協定締結式

境町と東京電力パワーグリッド株式会社下館支社(小室淳支社長)は、防犯カメラ設置表示板の取り付けに関する協定と、災害時における停電復旧連携に関する協定を締結しました。

県内初となる防犯カメラ表示板の設置はカメラが設置されていることを周知することで、犯罪の未然防止や抑止力向上が期待されます。境町では66基だった町内の防犯カメラを253基まで増やしました。順次防犯カメラが設置されている長井戸交差点や伏木南交差点などの電柱に「防犯カメラ監視中」の看板を表示していきます。また、災害時の停電復旧の連携については、令和元年房総半島台風(台風15号)の教訓をふまえ、大規模停電が発生した場合の相互の役割等について明確化することで、停電の早期復旧を図ることを狙いとしています。



締結の様子

防犯カメラ設置表示

6/16

## 安全なまちづくりに関する協定(境町×ダイドードリンコ(株)×境警察署)

町は、ダイドードリンコ株式会社(首都圏第二営業部 齋藤和男部長)、境警察署(藤田誠一署長)と「安全なまちづくりに関する協定」を締結しました。

これは町内への自動販売機設置に併せて防犯カメラを取り付ける取り組みで、自治体と警察、企業が一体となって行うのは県内初です。防犯カメラの設置により事件事故の早期解決と犯罪抑止につなげる効果が期待されます。現在は2カ所に設置されていますが、今後10カ所まで増やす予定です。これからも防犯カメラの推進と安全なまちづくりに連携して取り組みます。



締結の様子

自動販売機とセットで設置された防犯カメラ(左上部)